

いなづま

題字 小寺寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集総務部
 住所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 島山印刷



改装なった水路ダム

第三十七回通常総代会は去る五月二十九日組合会議室に於いて開催された。事前の定例役員会に引き続き、定期午後二時開会が宣せられた。

総代定数八十三名のうち出席五十四名、委任状提出二十四名で総代会成立報告のあと理事長あいさつに入った。

『電気工事業は建設業と同様国から不況業種に指定されていたが、業況が回復したとの事でこの指定が解除になった。本州方面の一部で電気工事業がいくらか上向いてきたと言う事らしいが、まだ北海道特に函館は低迷していると思う。いろいろと大変な中で他の業界にみられる様な不幸な事がなかつた事を喜びたい。組合としても役所その他に陳情などをして努力はしているが成果が目にみえて上っていない。官庁発注の工事は分離発注されているが量的に少なく、ゼネコンから出る仕事に唯々諾々と競争し乍ら安値で受注し、下請業者としての不況から脱却できないのが現状である。

先程の理事会でも審議された事であるが、近く『電気工事価格正常化総決起大会』を開いて内外に価格の正常化、特に我々内部に対しての自肅自戒の意味も含めて決意を新たにしたい、多数の組合員の皆様の参加をお願いする』と組合員の自助努力を訴えた。

引き続き議長選出に移り『事務局一任』の声で議長に桐田卓二氏（北弘電社）副議長に奈良正氏（三和電気商会）が推戴されて議事に入った。

第一号議案—五十九年度事業報告並に決算承認の件
 第二号議案—六十年度事業計画案並に予算案承認の件

昭和六十一年度

開催される

役員会だより

第十回役員会

六〇・三・五

第一回役員会

六〇・四・一三

一、慶弔報告

- (一) 横井電気商会代表者尊父、逝去
- (二) 共栄電気工業㈱専務、逝去
- (三) 三興電機工業㈱代表者病氣入院見舞

二、貸付報告

- (一) 岩本電気㈱代表者母堂、逝去
- (二) 北邦電気㈱代表者母堂、逝去
- (三) 尾野電気工事代表者怪我入院見舞
- (四) 山口電気工業所代表者尊父、逝去

三、各支部報告並提案事項

- (一) 六社 二四〇万円
- (二) 八社 三一〇万円
- (三) 八雲支部、支部総会を開催した。
- (四) 福島支部、ボランティアを実施した。
- (五) 中渡島支部、事業所訪問を実施した。
- (六) 赤川支部、同右

四、総務委員会事項

- (一) 支庁による電気工事業法立入検査の結果報告
- (二) 定期健康診断・献血の実施について
- (三) 一般転貸の事故について
- (四) 北電関連工事安全衛生協議会の報告
- (五) 昭和六〇年度事業計画案並びに收支予算案について
- (六) 昭和五九年度収支決算について
- (七) 剰余金の処分案について
- (八) 利用分量配当案について
- (九) 新加入組合員の承認について
- (十) 定款の一部変更について
- (十一) 電気保安功労者表彰の推薦について
- (十二) 中央会法制化三〇周年記念表彰の推薦について
- (十三) 新加入組合員の承認について
- (十四) 定款の一部変更について
- (十五) 電気工事士研修会の報告
- (十六) 主任電気工事士研修会について
- (十七) 建設省電気工事共通仕様書説明会について
- (十八) 渡島支庁による電気工事業法立入検査について
- (十九) 第三者損害賠償制度等実績について
- (二十) 大同生命团体共済保険の配当金について



件

第三号議案—定款の一部変更について

が逐次上程された。『剰余金処分案の利用分量配当と収入の部の資材取扱手数料についての説明がほしい』のほか、第三者賠償制度の支払われた補償金の内外線工事に区分した場合の金額、電話工事資格者試験の講習会の件等の活潑な質議があり、理事長及び事務局の回答や説明のあと各議案それべく拍手をもって議決され、午後四時三十分無事終了した。

六、技術・教育委員会事項

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

五、総務委員会事項

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

六、技術・教育委員会事項

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

七、事業委員会事項

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

八、技術・教育委員会事項

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

九、技術・設計研修会の報告

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

十、電々民営化スタートに当つて電話機開放についての情報報道

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

十一、主任電気工事士研修会について

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

十二、電気使用安全月間実施結果報告について

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

十三、建設省電気工事共通仕様書説明会について

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

十四、自己調達資材の単価改訂について

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

十五、北電有償譲渡資材の単価改訂について

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

十六、事業委員会事項

- (一) 新年会の報告について
- (二) 一般転貸の事故報告について
- (三) 新規加入申込について

四、保守管理業務の契約推進について

- (一) 第三者損害賠償制度等資料について
 (二) 保守技術員認定講習会について
- 第二回役員会 60・5・29
- 一、慶弔報告
 (一) 佐藤電気工業所代表者尊父ご逝去
 (二) 三立電気株代表者母堂ご逝去
- 二、貸付報告
 三社 一三〇万円
- 三、各支部報告並提案事項
 赤川支部 ボランティアの打合せをした。
- 四、総務委員会事項
 (一) 一般転貸について
 (二) 青年部第二回通常総会の報告
 (三) 会計期末監査の報告
 (四) 雇用促進事業団札幌支部函館建設雇用改善相談所の開設について
 (五) 総代会の要領
 (六) 全日電工連政治連盟の会費について
 (七) 事務局給与改訂及び夏期手当について
- 五、技術・教育委員会事項
 (一) 電気工事試験(学科)のための特別訓練の報告
 (二) 昭和五九年度訓練関係決算報告について
 (三) 電気事故報告について
 (四) 電話工事担当者関連情報について
 (五) 建物内部の配管工事について
 (六) 電気工事価格正常化総決起大会について
 (七) 昭和六〇年度電気使用安全月間にについて

組合行事

4月13日	八雲支部総会	労働保険年度更新説明会に坂本事務局長出席(於市民会館)
15日	北支部会議	道工業組合役員会および北海道電気工業事業厚生年金基金代議員会に吉田副理事長出席(於札電協)
16日	昭和六〇年度主任電気工事士研修会	全日電工連第三〇回通常総会に大倉理事長出席
17日	青年部役員会	定期健康診断および献血(詳細別掲)
18日	江差支部会議	全日電工連第三〇回通常総会に大倉理事長出席
19日	青葉支部会議	定期健康診断および献血(詳細別掲)
20日	江差支部会議	北電関連工事安全衛生協議会に細川副理事長ほか理事出席
21日	八雲支部北檜山ブロック観桜会	道工業組合役員会に吉田副理事長出席(於札電協)
22日	江差支部会議	厚生年金基金代議員会に吉田副理事長出席(於札電協)
23日	第一回役員会	全日電工連第三〇回通常総会に大倉理事長出席
24日	西支部会議	定期健康診断および献血(詳細別掲)
25日	福島支部会議	小規模企業振興委員連絡会議に坂本事務局長出席(於函館商工会議所)
26日	会計期末監査	全日電工連第三〇回通常総会に大倉理事長出席

組合員消息

一、四月二一日	佐藤電気工業所代表者佐藤功殿 ご尊父佐藤忠治殿ご逝去
一、五月二〇日	三立電気株代表取締役酒井好一殿ご母堂酒井フヂイ殿ご逝去
一、七月一日	(有)光電気代表取締役久保博義殿ご尊父久保清之丞殿ご逝去

5月20日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席(於札電協)

21日 中央会道南支部通常総会に坂本事務局長出席(於拓銀ビル)

新加入組合員の紹介

昭和六〇年度新加入の六名の方を
ご紹介いたします。

(加入月日) 昭和六〇年四月一日

須藤 義雄
昭和四年九月二七日生
函館市大川町五十五
電話 四二一六四九九

日本電機保全㈱、協信電気工業㈱函館支店を経て、
昭和五九年一〇月独立開業

田原 昭雄
昭和二十四年一月二三日生
函館市金堀町一一二〇
電話 五一一八六八四

昭和三九年四月モリヤ電飾を経て、昭和五一年四月
独立開業

組合員の異動

〔組織・代表者・住所・町名変更〕
(新)
(旧)

一、日本電設工業㈱函館支社

支社長 百沢武雄 支社長 橋向照吉

一、池田電気工事㈱

函館市龜田本町

一、久保田電気工事店

函館市龜田本町

一、恵山電気商会

函館市富岡町一一四一四

一、ツボ電気商会

函館市尻岸内町字日浦

一、㈱東福電機工業

函館市尻岸内町字日の浜

一、山田電気

茅部郡南茅部町白尻



独立開業
昭和四七年三月北斗電気㈱を経て、昭和五六九年九月

三木 勝彦

昭和二九年五月七日生
龜田郡七飯町字大川四八一三
電話 六五一一六〇五二

三木 電気

昭和三八年四月伊藤電氣店を経て、昭和五六九年二月
独立開業



神尾 耐

昭和一年一月二〇日生

函館市神山町三丁目三〇一三
電話 五三一一七二三

共友電気

昭和二三年七月三日生

函館市見晴町九一二七
電話 五七一〇五八〇

掛村義弘

昭和二三年七月三日生

吉村電機商会、㈲佐々木電気商会、㈲石垣電気工事
店を経て、昭和五二年三月独立開業



井ノ川敏明

昭和二十四年二月二三日生

和光電設

函館市富岡町一一四一四



独立開業
昭和四七年三月北斗電気㈱を経て、昭和五六九年九月
石島電気㈱、奥村電工、佐々木電気㈱を経て、昭和五九年六月独立開業

田原昭雄

昭和二十四年一月二三日生



函館市金堀町一一二〇
電話 五一一八六八四

須藤義雄

昭和四年九月二七日生



函館市大川町五十五
電話 四二一六四九九

新加入組合員の紹介

一一三〇一五四四

一一三二

(5) 【第65号】

組合青年部の第二回通常総会が、去る四月二四日市内の景福ホテルで開催され、会員三一名中二二名が出席した。

はじめに平沼部長があいさつに立ち『昨年は札電協の青年部も発足し、道内の青年部の活動が次第に活発化しつつあり有意義なことだと思う。又業界は大変厳しい状況におかれているが、この時代を生き抜くためにも若い力（青年部）が求められており、今後も将来のために青年部としての役割を充分認識すると同時に工夫を心掛け業界の発展に尽くして行きたい』と決意を述べた。

引き続き議長の選出、議事の審議と進められ、議長には部長一任ということで伊東研一氏（ユタカ電機）が選任され議事の審議に入った。

議事の審議は

第一号議案	昭和五九年度事業報告及び決算報告
第二号議案	全右監査報告
第三号議案	昭和六〇年度事業計画及び予算案
第四号議案	会則の変更
第五号議案	役員改選

といづれも満場一致で可決された。

昭和五九年度の事業報告では総会の開催（みかど社にて二六名出席）、一〇月の見学会（北海道電力森地熱発電所）（一名出席）、電気設備工事施工上の注意点（手直し調書の作成）（二〇〇部）、新年会開催（バーコーダー）（二名出席）、慶弔支出（三万五千円）と報告があり、第三号議案の事業計画案として施設見学会、組合主催の研修会への参加・協力、他地区青年部との交流、組合理事者との交流、OA機器等に関する勉強会のほか親睦会についてはスポーツ・レクリエーション

恒例になつた定期健康診断が、去る四月一九日の午後組合会議室において実施されました。

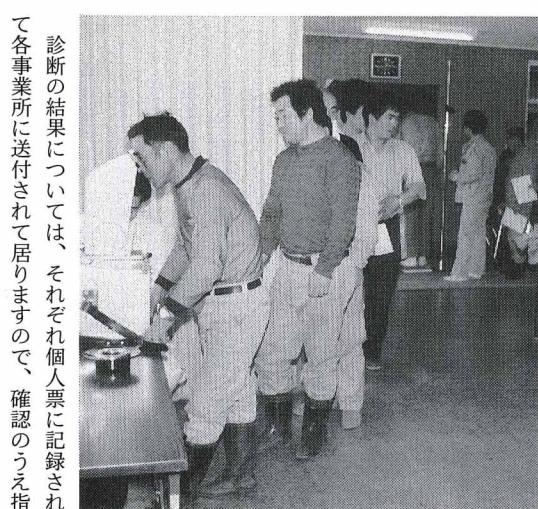
X線検査の七項目について、三三事業所から一六七名が受診しました。

身長・体重測定、尿検査、視力・血圧測定、診察、提議され各員の協力を求めた。

第四号議案では、従来の副部長三人制を二人制と変更するほか理事の人員削減も提案され承認された。

第五号議案の役員改選では第四号議案の承認により次とのおり選出された。

部長	平沼冠三（樺電工業㈱）
副部長	大鎌哲雄（大鎌電気㈱）
理事	梶原慎司（梶原電気工業㈱）
監事	片岡博（道南電気工業所）
理事	大倉直（大倉電気㈱）
監事	工藤雅史（㈱工藤電気商会）
理事	小寺隆（日本電機保全㈱）
監事	玉津真史（タマツ電機工業㈱）
監事	飯田政司（佐藤電気工事㈱）
監事	新任
監事	本庄寛治（㈲本庄電気工業所）



診断の結果については、それぞれ個人票に記録されて各事業所に送付されて居りますので、確認のうえ指示事項が記載されている場合は必ずその指示に従って、健康管理に充分注意して下さい。

又献血については九五名の方が協力し、中には三六回と言う人も居り、赤十字血液センターでは大変感謝して居りました。

献血者の内訳

A型	二六名
O型	三五名
B型	二九名
AB型	五名

青 第二回 通常総会開催 部



獻集団検診実施

電気工事価格正常化 総決起大会！開催さる

去る五月二十日札電協で開催されたのを皮切りに、各単協も統一して開催してきた総決起大会が、当組合では七月九日組合会議室で組合員および電設資材販売業者五十余名が参集して開催された。吉田副理事長の開会宣言に続き、大倉理事長がいさつに立ち次の通り述べた。

本日、当組合が電気工事価格正常化総決起大会を開催するに当たり、「一言」あいさつ申し上げ、「ご参集の皆様の一致したご協力ご賛同をいただきたいと存する次第であります。

ご承知の如く電気工事業界は現在未曾有の危機の中にある、今後もこの状態を続けるならば、業者の転廃業はおろか業界全体の存続をも問わなければならぬ瀬戸際にあるのであります。

それは何が原因であるかは申すまでもなく仕事が大幅に減少している中で、我々業者同志が、大手も中小零細業者も入り乱れて受注競争に走る余り、明らかにダンピングと思われる工事価格が市場を横行し、業者同志が自らの首を締めている現状であり、誠に由々しき問題であります。

高度な技術を販売しなければならない我々専門業会として、このまゝ不当なダンピングを放置する事は粗悪工事ともつながり、ひいては国民の信頼をも失なう結果となり、業界の崩壊を來すものであります。勿論、自由経済下にある業会において、価格の協定

など公正取引委員会の禁じている不当な協定は違反であります。が、経営出来ないようなダンピングを行なう事により他の業者に対し迷惑をかけているということは勿論、自らも資材業者や下請などの協力業者や自社の社員に対し必要以上の安値労働を強制する決算となり、こちらの罪悪の方が大きい事は非明の理であり、断じて許される行為でありません。

組合といたしましては、ゼネコン等他の建設団体に対しましてこれを等価格の正常化に対する協力を要請する一方、業界内部に対しては、安値受注又は見積提出者に対し、正常な経営についてのガイドラインを策定し、注意を換起すると共に電設業会他の同業諸団体共々、業界の正常化に立向っていこうとするものであります。

今回の大会を機に、諸官庁の発注になる公共事業のみならずゼネコン及びその他の民間の発注による諸工事の正常化が大きな目標となる訳でありますから、ときによつては共存共榮の立場から自主調整しなければならない場合も出て来るでしょう。

一灯百円という低価格もまかり通っているそうですが、そのような価格では会社も成立たないし、電工さんに満足出来る給料も払えません。

まに合わない仕事は、「どちら」、「やらない」の強い心掛けで業界全体が一致団結し、共存共榮の実が実る事を願いして本日のあいさつをいたします。

今日はお忙しいところご参集いたゞき有難うござい

など公正取引委員会の禁じている不当な協定は違反であります。が、経営出来ないようなダンピングを行なう

た。

記

一、適正価格による受発注の徹底方について

イ、正常な営業活動を相互に尊重し、公正な競争秩序が乱されることなく、適正価格による受注が行なわれるよう、ご配慮願いたい。

ロ、電気工事は「電気工事業の業務の適正化に関する法律」に基づいて登録又は届出をした電気工事業者に発注されるよう、ご配慮願いたい。

ハ、下請業者への適正価格による発注が行われるよう、ご配慮願いたい。

二、施主に対する適正工事費尊重望について

二、安値受注が目立つて来た背景には、施主側が無理な競争見積を押しつける等、過当競争に拍車をかける結果となつてゐるよう見受けられる。

施主に対して適正工事費の尊重を納得させるようご配慮願いたい。

三、元請、下請間の正常化について

公共工事の減少から、いきおい民間建築工事の受注合戦が激化し、引いてはこれが元請、下請間に不信感をもたらしている。このような事態の一日も早い改善を図り、相互の関係を正常化する必要がある。ので次の事項について何分のご高配を願いたい。

イ、下請契約は文書により明確化すること。

ロ、下請代金支払いは現金決済比率を高めるとともに少くとも労務費相当分については現金払いと

ました。

次いで、細川副理事長の力強い決議宣言、北海道電気工事業協同組合連合会島津孝吉会長の祝電披露があり、積極的な意見交換のあと吉田副理事長の閉会宣言で終了した。

やめよう ふせごう ダンピング

ハ、手形サイトは九〇日以内とし、経済情勢の好転に即応しながら短縮すること。
 ニ、元請が前払金を受けたときは、工事着工に必要な費用に相応する額を現金で前金扱とすること。
 する。



主催電気工事士研修会

60

主催 北海道電気工業組合

函館地方電気工事協同組合

後援 札幌通商産業局

北海道電力株式会社

財北海道電気保安協会

北 海 道

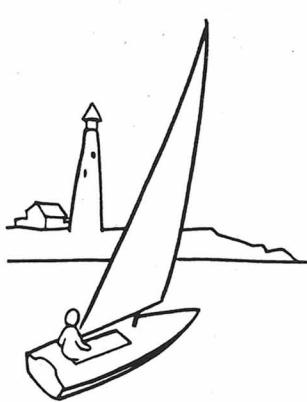
議題および講帰

一、電気関係法令の改正について

二、電気事故防止について

今年で第三回目の主任電気工事士研修会が、去る四月十六日ホテルアカシヤにおいて開催され一三九名が熱心に受講した。

定刻の午後一時、坂本事務局長より各講師を紹介したあと吉田副理事長より「ご承知のように電気業界は国の不況業種にも指定されるなど、厳しい状況におけるいます。そのためにも企業の努力が必要となる一方、技術の向上も望まれているわけです。どうか皆さんこの機会を利用して、今後の仕事に役立ててほしい」とあいさつをした。
 ○引き続き議題の一から順次説明に入り、午後四時四〇分研修会を終了した。



三、P C B 使用電気機器の取り扱いについて

札幌通商産業局公益事業部施設課 東川技官

四、電気工事業を営む者の登録制度について

渡島支庁経済部商工労働課 佐藤主事

五、需要家電気施設施工時における留意事項について

て

北海道電力㈱函館営業所 お客さま 中川副長

六、自家用受電設備の実態について

財北海道電気保安協会函館支部 佐藤部長代理

西田主事

サハリン日記

父祖の地を踏む最終回

平沼硝子

(前号七月三十日続き)

サハリン時間十五時四十分(日本時間十二時四十分)

ふたたび見る事のないであろう樺太を後にする。

一番いい窓側に坐る。隣席は太ったソ連の娘さん。

機内は冷房がなくサウナと同じで扇子など役に立たない。

上昇してトロトロとしたと思ったとたん、何か大きな音がしたように思いハッとして目をさます。窓の下は西海岸である。青い海、茶色の砂浜、それを区切る白い波、上から見る海岸線はくっきりと西能登呂半島の先まで見えて、慰霊祭をして来た西側半分である。

多く「男や姫は馬鹿者、樺太が見納めだ」と言うのに多分、男や姫は「馬鹿者、樺太が見納めだ」と叫んでいた。海岸線はフィルムでなく私の脳裏に焼つけた。真岡、本斗、内幌はどのあたりかと見つめているうちに雲の中に入れる。白雲を出るとシベリヤ大陸のハバロフスク、樺太とは永久の別れである。

空港からホテルに行く途中、かつての捕虜収容所で斃れた人達の慰霊祭を行う。墓地はここもきれいに整備されて居り、入口はアスファルトを敷いた直後のか靴の跡がつく。

墓は土葬で一人づつコンクリートで遺体をかこむ。そのコンクリートの枠が一列に並ぶ。合同のが一ヶ所ありそこには大きな枠が廻してあった。日本から遣族が運んだのである。日本式の墓が三基あった。ネームプレートを立ててあり数えたら合同も含めて一九〇体である。万を越すと聞いていたのに意外に少ないと思う。このほかの地にもあるのだろう。(後日ナホトカ

にもあるのを聞く)

慰霊祭は非公式なので祭壇はなく献花のみを行う。

私は「心経」と「平和の祈り」「合掌」を唱えた。

異国の丘と言う歌があるから丘かと思ったら平地、しかしハバロフスクは起伏の多い町だとの事、ここが丘になるのかも知れない。墓地は捕虜収容所の跡ではなく別なところであるが、木立があり静かな雰囲気であるのが救いであろう。

ホテル迄の沿道を通訳が説明、「三人の郡像」は赤軍、バルチサン(白糸ロシヤの干涉を防いだ)の記念像である。

一八九七年に始めて列車が通り革命前の人口は四万人であった。赤の広場はスターリンが亡くなつてからレーニン広場と言つた。共産党ハバロフスク本部行政の建物、教育大学の前にブーシケンの像が建つ。小首をかしげて「考える人」に似たスタイルである。

ハバロフスク地方の平均収入は二二〇ルーブル、モスクワより高いのは北方寒冷地手当がついているからである。夏はそれ程でもないが(私の居た日は二十九度)、冬はマイナス四十度位になる事がある。自然環境がきびしいのでその手当である。昨年は四十三度迄下った日が十日間もつづいた。

赤軍の谷間と言つたのがあり、二千人以上の赤軍が革命後銃殺された。

家賃の平均は日本の四千円位になる。共働きで収入の三パーセント位の家賃である。ハバロフスクは電気機械工場が一番大きくなるのがディーゼル工場、電線工場

である。最近アルミニューム工場が建てられた。赤レンガの市役所、音楽劇場、マルクス通り等ホテル迄退屈しない。

夕食後、同行の蓮池さんの案内で夕暮の街を歩く。ソ連で面白いと思ったのは商店の看板である。大きな一枚ガラスに販売品の絵を画く。魚屋はブルーと白で波を画く、魚、イカ、タコが泳いでいる。イカは今回食卓に出たがタコは日本人以外は食べないと聞いていたので質問すると、最近は食べる人も出て来たとの事、店の中に入つて見ると全部カチンカチンの冷凍品ばかり、生は一かけらもない。

人参、トマト、キウリ、キャベツの画いてある店は勿論八百屋、牛と牛より大きいビンは牛乳と乳製品、鶏と玉子は肉屋、昔文盲の居る頃は絵で知らせる事が多かつたが、戦後も四十年、まだソ連には文盲が多い



84 7 28

のだろうか、絵はすべてアニメーション式で見るだけでも楽しい。陽気な人種のかも知れない。

街は坂あり谷あり平地ありで起伏が多い。市内にトロリー電車、軌道電車、架線バスが走る。信号はあるがすべて人間優先である。道巾が広く公園が多い。暑いせいか人も沢山歩いている。十時をすぎても人影が絶えない。

帰つてアムール河を屋上から見ようとしたがおそかつた。ドアはストップで錠がかかっている。十階の口ビーから中州に出来た町の灯を眺める。

ハバロフスク

かつて「異国の丘」で誰の耳にも残っている町の名である。現在日本の新潟市と姉妹都市の関係を結び、ホテルインツーリストの大食堂の入口の壁に、新潟市の街路や信濃川、大学等のパネル写真の大きいのが十数枚並んでいた。

ハバロフスク市は十七世紀のロシヤの探検家の一人

エロフェイ・ハバロフを記念して「ハバロフカ」と名づけられた。駅の前に銅像がある。一八五八年五月三十日は町の創立記念日である。この日はジアチエンコの指揮する第十三シベリヤ大隊の兵士達が、アムール河のほとりに小さな集落を作つたことによる。

一八八〇年「ハバロフカ」は都市となり、一八九三年から「ハバロフスク」と呼ばれるようになつた。帝政ロシヤ時代は製粉所、ビール醸造所、小さい兵器工場「アルセナル」、いくつかの船の修理工場ぐらいしかなかつたが、ソ連邦になってから現代の大都市となり、面積四〇〇平方キロに広がり、高層建築もどんどん建ち（ホテルインツーリストは十一階）経済、行政の中心地となり、大工業都市となつた。工場は約一〇〇〇あり、工作機械、ディーゼル機関、タービン、石油製品、暖房設備、医薬品など各種の製品を生産している。又大学が十校、太平洋会議の為に建てられた会議場等もある。

三十度になることもある。（今年は馬鹿天氣で三十度を越す日が続く）。冬は十一月から三月まで平均マイナス二十度～二十五度、時には三十度を越すことがある。終戦後日本軍人捕虜がこの寒さの為死亡した者が多いうと聞く。

人口は諸民族を併せて五十六万人、特に朝鮮人が多い。シベリヤで十二番目に大きい都市である。ここは日本から西欧諸国、シベリヤ各地、中央アジアを廻る観光コースの起点・終点である。

ソ連には一二〇〇の民族が集まっており一番多いのはロシヤ人で一億数千万人、一番少ないのは五〇〇人でネギダル人、この民族は北サハリンにのみ住んでいる。



アムール河

七月三十一日 火曜日 晴

新潟行きは一日一便で日本時間午後二時である。午前中通訳のトーリヤさんの提案でアムール河遊覧をする。水温二十五度、自殺しようとしても助かるからしない方がいいなどと冗談を言う。今日も気温三十度、昨日豪雨だった由、河水は中国の黄河以上の泥水である。

遊覧船は大きくて我々の外にも別の日本人団体があり同席する。太陽はキラ～だがさすが川風は涼しい。アムール河は四四〇〇キロメートルの長さでエッフェル山脈より流れ出る。長さ一位、広さ九位、アムールとはギリヤーク語で「広い水」と言う意味である。古代の歴史を研究する世界の学者達が、アムール沿岸に集まって研究している。アムール河の支流は二十位あります大船も入る事が出来る。この河のおかげで船が開拓者を運んで来た。中州の大きなのは四十平方キロもあり、火力発電所がある。石炭は船で運んで来る。又別荘をはじめアパート、高層建築が建っている。

この河に五メートルもあるチヨウザメがいる。このサメの卵は有名なキャビアである。一〇四種の魚が住みイトウもある。又三〇〇キロもある魚がとれる事もある。秋には鮭、鱒も遡上し客貨船が往来する。広大なシベリヤの大陸の外、中州にも人が住み企業を営んでいるので土地はますます広くなる。この河はウズリイ河と共に中國との国境をなしている。チエホフはアムール河の美しさに「私はなす事を知らない」と言ったとガイドは説明する。

一九一六年、このアムール河に鉄橋が完成した。全長二六〇〇メートルある。二四七〇キロの船舶航路を持つ。船の航行は七月・八月に一年の七〇一八〇バーセントが集中する。それは春に増水せず夏に増水するからである。沿岸は耕地と森林に覆はれる。

アムール河は結氷する。一番早かつたのは十月十九日と言う記録があり、一番おそいのは十二月二十二日、結氷は北部よりはじまり解氷は南部よりはじまる。

日本えの木材輸出はこの河からで、水上電車と呼ばれている小型の船舶が積荷の時に活躍する。

日本航空の九九四便は新潟に向った。七月も今日で終り念願の墓参も果した。慰霊祭の度に涙を流したが、私の人生の中で思い出深い忘れ得ぬ十日間である。上昇するにつれて窓下に今遊覧して来たアムール河の全貌が見えて来る。中州に切断されていくつもの川となり、又中州となり、川が中州を突きぬける。丸く四角く、細く長く川も中州も複雑な形を作る。

白雲をぬけると茶色の砂浜、白く糸のように細い波が寄せて来る。沿海州の海岸線だ。いよいよシベリヤともお別れ、大陸よさようならである。

飛行機は日本海に出て一路新潟に向う。機内放送は二万六千フィート、本日新潟晴、気温二十九度、十六時十五分定刻到着する事を告げる。

いわし雲の間からあざやかなブルー一色の日本海、まだ越後の山々は見えない。日本時間十五時三十分。

四時、ブルーの色が変る。船が見える。防波堤だ、燈台だ、右の窓に高層建築が見えたと思うと芝生が目に入り着陸を感じた。ああ、日本に帰ったと言葉にならない感動があった。

夕食は久し振りの日本食、気付かず重ねた盃、私は日本人だと更めて思う。

八月一日 水旺日 晴

十時三十分、千才に向けて飛ぶ。快晴である。日本海は昨日以上に美しい。間もなく佐渡ヶ島の上を通る。大佐渡、小佐渡がきれいに見え、間をつなぐいくつかの小島が小石を置いたように並ぶ。粟島を一気に通過、男鹿半島の上を通り青森の竜飛岬から北海道松前を左に、右にコースを取って千才に着く。

出発と同じ道府別館地下の大會議室での帰国報告会。佐渡團長の一言、一言に十日間の行動が思い出された。今田代表の挨拶、古江道民生部次長の挨拶、樺連浅井

副会長の挨拶があつてすべての行事が完了した。

帰りの列車でゆっくり十日間を振り返る。何と充実した十日間であった事か、触れあった人々が臉に浮び脳裏をかすめる。あの時、あの人と思ひはつきない。十日間共に過した人々に深く感謝するばかりである。

(完)



や菓子、椅子などを出して「ドージョ」「ドージョ」と言うのを、皆日本に帰国してからもまねしていた。空港の休養室の女医が絵葉書の地名を何回も何回も、ゆっくりゆっくり発音をくりかえして、一回毎に理解出来たかと確認するのだろう私達の顔を見る。笑顔で面倒がらず教えてくれた。

バザールに行つた時である。バザールの見学が終つて出発する時多川さんが見えない事に気づく。乗っていた、いや乗つていなかつたと言ううちに写真を撮っていたと言う人もある、責任のある人達は真剣になって探す。特に通訳の鄭さんは眞青になつていだ。だが結局はひる寝が過ぎてバスに乗りおくれたと言つのが真相、人間の記憶ぐらいあてにならないものはないと思った。ウォッカを呑みすぎて胃を押えていた時の表情、蘭泊から帰つた時の興奮して学校が残つていたと言う言葉等、話題の一番多い人であった。

外務省課長補佐の森泉達士氏はモスクワに三年、ナホトカに二年勤務して今春本府に戻つた人である。なかなかのソ連通である。内幌墓参の件でツーリストの支店長が許可しないので森泉氏が「貴国の外務省が許可しているのに、貴方は外務省の指示を変更する実権があるのか」とやり合つた由、無事内幌の墓参を今までから団長に聞いた話である。

本斗慰霊祭が終つて御詠歌を唱えて戻ると、追悼のことばを読んだ鈴木さんが軽く頭を下げた。追悼のことばを読む時も時々涙声になつたが、私えの会釈は肉身えの万感の想いだったのだろう。

ソ連人はバッヂをつける事が好きなのかも知れない。豊原は勿論、真岡、本斗の市役所からも貰う。それに真岡のフェリーの基地見学、金魚幼稚園、豊原のジャンク台見学の時に休んだヒュッテでは一度に五ヶ所ももらう。同行の小野さんが全部胸につけたのでなかなか

忘れ得ぬ人々
スラブ民族の中ではソ連人は人間としては心根はやさしいのかも知れない。皆親切であった。ゴツイ顔、太った大きな身体、鼻が高いので奥目きびしい表情だが、笑うと目が見えなくなってしまう。個人的にはアメリカ人より人柄がいいのではないだろうか。
サハリンホテルの支店長のお祭りのお獅子のようないに似ぬ親切、義務的の感情ばかりではないと思う。水



壯觀である。昨年大韓航空機事件の時、ソ連が事故の説明をしたオルガコフ参謀総長の胸にビッシリと略章がついていたのを想い出す。道路に小屋のような建物があり、バッヂや一寸した小物を売る。胸に何かをつけると言う事はソ連人は大人も子供も好きなのだろう。

豊原と旭川とは姉妹都市の関係にあるとの事で、道庁が持參した旭川の雪まつりのバッヂを子供達に呉れるよう吾々に十二・三個ぐらい渡された。ホテルの前や、バスの乗降の時に集まって来る子供達にくれたが、大よろこびであった。誰かが貰ったのを知るとわざ／＼走って来て手を出す仕末だった。

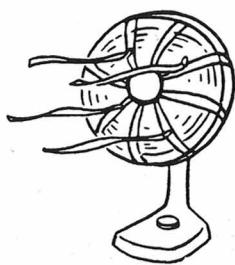
ショッピング

ハバロフスクで荷物を出してから飛行場に行く途中

でショッピングをする。ここは日本円でのまゝ買物が出来た。レートを計算器ではじいて品物の値段を伝票に書く。端数のお金がなくて全然釣銭を出さない。わづかのところに千円出して釣銭がなければ大変と五百円貸して、十円玉持てると大声のやりとりであった。品数も百円以下のおり分を皆ソ連に寄付して來た。品数も少なく勿論種類も沢山ない。木彫の人形が沢山あったが木工品が多いと見た。私はトランプを買ったが不思議なことに、二・三・四・五のカードが全部ぬけている。どんなルールなのだろうか。コハクのネックレスを一本買ったが、さすが原産地だけあって品質はいいし値段も安いが、細工は粗末でそのまま使用出来ない。帰宅してすぐ修理に出したが結局は高いものになつた。

一番驚いた事はハバロフスクのインツーリストの壳店に、日本語で日本の字で書いたソ連の童話の本が置いてあった。孫の土産にと成田さんが買ったが、日本字の童話の本が店先にあるということは、それだけ日本のお客があるという事である。

ちなみにソ連の貨幣はルーブル紙幣の外、コインはカペークと言つて、日本なら一と五の単位だが、一二あり三あり四ありで勿論五のコインもある。私は記念に三カペークのコイン一枚持ち帰ったが、七・八もあるとの事である。



税務だより

◎お酒や品物にかかる税金

税金には、所得税や法人税などの直接税のほかに、私たちの生活に深いかかわりのある身近な税金として、お酒やその他の品物にかかる間接税があります。

間接税の中の代表的なものには酒税と物品税があります。酒税は、清酒やビール、ウイスキーなどのお酒にかかる税金で、お酒の種類、品目、級別、アルコール分などに応じて税率が定められています。

また、物品税は、宝石の指輪、ゴルフ用品、自動車、ピアノ、サーフボード、ハングライダー、ルームクラーなどにかかる税金で、小売価格や出荷価格に一定の税率を掛けて計算します。

“お 知 ら せ”

このたび雇用促進事業団では次の相談所を開設しましたので、お気軽にご利用下さい。

一、名称

北海道建設雇用改善室

二、所在地

函館市新川町
函館建設雇用改善相談室

函館市公共職業安定所 雇用保険適用課内
電話 二六一〇七三五 内線四一六

三、取扱業務

(一)、建設雇用改善助成金支給手続き等の相談及び
支給申請書等用紙の交付・受理
(二)、その他建設雇用の改善に関する相談

暑中お見舞申し上げます

あかるい明日を技術でひらく

東芝電材株式会社



三菱電材特約店
あらゆる電設資材卸

函館営業所
東芝電材株式会社

040 函館市大繩町二十二番十四号
電話 四九一六二二二六

吟味する

函館出張所
松下电工株式会社

函館市西桔梗町五八九番地一〇七
電話 四九一五二五

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四九
電話 四九一六二二一三一三

電気設備機器資材の総合卸商社

本社 函館市西桔梗町五八九一〇七
大興電機株式会社

本社 函館市西桔梗町五八九一〇七
営業所 山越郡八雲町内浦町一〇七
電話 (030) 3133-6959

あらゆる電設資材卸

隆東電機株式会社

電設資材・機電総合卸

函館市西桔梗町五八九一〇八
電話 四九一六二二二六

函館市松川町三四一一三
電話 四二一六二二三一
040

明日をひらく電設資材の総合卸商社

函館営業所
株式会社 工三ヤ商会

函館市富岡町一丁目四一
電話 四二一三〇一一(代表)
本社 札幌・営業所
函館 営業所
釧路 苫小牧

電気工事材料
音響通信機器
総合商社

函館営業所
支店 社本
函館市西桔梗町五八九一〇七
大興電機株式会社

函館市西桔梗町五八九一〇七
支店 社本
函館市西桔梗町五八九一〇七
大興電機株式会社